

その他の廃棄物処理業におけるトラックを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	11～ 12	積みかえ保管所で、廃棄物を積み下ろし中、1mくらいの高さの荷台から廃棄物が置いてある床に降りた際に右足をひねり、右足かかと上が関節靱帯損傷・右腓骨骨折を負った。	45	10 ～ 29
1	14～ 15	普通ごみ収集中、被災現場に集められていたごみを収集するため搭乗していた車両から下車しようと左足を地面に着地させる際、勤手席座席から地面までの高さを見誤り、バランスを崩し滑り落ちる様に左足踵から地面に着地した。更にその状態で外側に倒れ込もうとする体を支えようと左足を踏ん張ったため、自身の体重による負荷が左足脛にかかり、左足脛を負傷し、歩行困難となった。	46	100 ～ 299
2	11～12	アームロール車のコンテナに積まれた鉄くずを降ろす作業中、後方アオリの3枚扉の上部を開け、下部を開けようとストッパーを外した際、積荷による外力で扉が勢いよく開き、押さえていた左手薬指の尖部を扉と下部ローラーに挟み尖部を切断した。	47	—
2	9～10	敷地内にて、トラックへ廃棄物を積み込み飛散を防ぐシートをかける作業を行っていた際、バランスを崩しトラック荷台から地面へ落下し頭部を負傷した。	55	—
2	10～11	信号の無い交差点で優先される道路を北から南進している時、一旦停止を無視して東から西進してきた軽トラックと接触した。負傷し受診したところ頸椎捻挫、腰椎捻挫、胸腹部打撲と診断された。	42	50 ～ 99
3	12～13	市の粗大ごみ回収の作業中、処分する自転車をトラックの荷台に積むため、トラック後部に設置してあるパワーゲートを下げて、そこに自転車と労働者が乗り、もう1人が操作ボタンを押して上昇させたが、安全確認が十分でなかったため、トラッ	71	30 ～

		ク荷台とパワーゲートのすき間に労働者の左足（長靴着用）がはさまり、すぐにパワーゲートを下げたが労働者の左足甲部を損傷した。		49
3	9~10	取引先にて産業廃棄物の積込作業をしている際、バランスをくずしてコンテナの上部より転落し、左大腿骨転子部を骨折した。	64	30 ～ 49
3	7~8	可燃ごみを収集していたところ、左折してすぐの場所に可燃ごみが1袋出ていた。助手席を降りてドアを閉め右足を一歩踏み出した時に、乗っていた車の前輪タイヤに左足（踵）を巻きこまれた。	28	30 ～ 49
4	13～ 14	事業所内のトラックの荷台で作業中、地面にあった木材の上に転落し、左腰と背中を打った。	50	10 ～ 29
5	11～ 12	車線のない狭い道路で帰社途中、車で移動時に対向車を避けようとして田に落ちそうになり、慌てて右にハンドルを切り過ぎ、戻そうとしたら、運転していた車が横転してしまった。	58	10 ～ 29
5	11～ 12	現場で2tダンプ車で廃棄物の収集作業を終了し、車両横（荷台外側）の梯子に上がり、荷台のあおりを固定するストッパーを外そうとした際、足を踏み外して約150cm落下し、踵から着地して強打した。	42	100 ～ 299
5	13～ 14	2tトラックにて粗大ゴミの回収作業をしている時、積み終えて扉を閉めた際に親指を挟み骨折する。両開き扉の右側を閉じる時に、左側が半開きになっている状態で左手を添えたままに閉めた為に起きた。	54	30 ～ 49
5	15～ 16	収集した大型ゴミを処理施設へ搬入する時、前処理機（破碎機）にゴミを投入するためバック誘導を行い、収集車両の荷台後方扉の右側フックを外し、左側フックを外したところ、開いていた扉が右膝の上に当たり負傷した。	24	50 ～ 99
6	9～ 10	被災者は清掃工場へ燃やすごみを搬入後、次の集積所へ行く為、清掃車を運転していた。交差点で信号待ちをしていたところ、後ろから大型ダンプに追突された。追突の衝撃で首を負傷したため、救急搬送された。	51	100 ～ 299
		被災者は燃やすごみ収集作業のため、清掃車左側座席に乗車していた。清掃工場		100

6	9～ 10	へごみを搬入後、次の集積所に行く途中、交差点で運転手が車を停車させ、信号待ちをしていたところ、後ろから大型ダンプに追突された。追突の衝撃で首を負傷したため、救急搬送された。	46	～ 299
6	9～ 10	被災者は燃やすごみ収集作業のため、清掃車中央座席に乗車していた。清掃工場へごみを搬入後、次の集積所に行く途中、交差点で運転手が車を停車させ、信号待ちをしていたところ、後ろから大型ダンプに追突された。追突の衝撃で首と唇を負傷したため、救急搬送された。	45	～ 100 299
6	10～ 11	ミニダンプカーを運転して、ごみの収集場所に向かう途中、信号待ちで停車していたところ、後方車両に当方車両の後部に追突され、負傷したものである。	49	50 ～ 99
6	15～ 16	団地内客先にて、廃棄物の収集運搬をする為、軽ダンプの荷台に上って作業をしていた。荷の積込みが終わったので、荷台上部から後向きに飛び下りたところ、下で作業していた同僚に接触し、足を捻って転倒した。	66	1～ 9
7	16～17	会社敷地内の解体作業場で、軽トラックをフォークローダー（3t）で高さ約1.5mまで持ち上げてオイル抜きとタイヤはずし作業をしていた。その時、片側の方だけ前後のタイヤをはずしてしまったためバランスが崩れ、フォークローダーから軽トラックが滑り落ちてしまい、荷台のアオリ部分が左足首に当たり負傷した。	60	10 ～ 29
7	14～15	養豚場で豚の死骸の回収作業中、回収用鉄箱からはみ出していた豚の足にロープを縛り、鉄箱に入れるため、トラックの荷台に乗りロープを引っ張ったところ、ロープが抜け、そのはずみで足を滑らせて荷台から落下し、負傷したものである。	43	30 ～ 49
7	7～8	廃棄物契約先よりゴミを回収し、それを両手に持ち、パッカー車に戻る際、急いだため、左右を確認せず車道に降りたところ、進行してきた車両が漫然と運転していたため、発見が遅れ衝突転倒した。	36	100 ～ 299
7	14～15	回収した資源物（ペットボトル）を処理施設に移送するため、飛散防止ネットを装着する際足を滑らせトラックの荷台から落下し、頭と腰を打撲した。	50	50 ～ 99
		収集コース途中にて粗大ゴミ（木製テーブル）を収集時、パッカー車の後部回転ば		30

7	11~12	ん作動中に木製テーブルを押し込んだ際、回転盤に接触し右手親指と人差し指を負傷した。	59	～ 49
7	10~11	ミニダンプカーを運転して、ごみの収集場所に向かう途中、信号待ちで停車していたところ、前方の相手車両が後退してきて、当方車両の前部に追突され負傷したものの。	49	50 ～ 99
7	10~11	団地内の可燃ゴミ回収業務に従事中、家具を解体した板の束（長さ2m、6枚）をパッカー車の回転盤の中に入れたところ、板が長かったため全て回転盤の中に入りきらなかった。残りを右足で蹴って押し込んだ際、回転盤に右足首を挟まれ負傷した。	64	100 ～ 299
7	16～ 17	産業廃棄物の収集運搬をし、処分場で金属くずを降ろしていた所、右肩をひねった。そのあとトラックのあおりをはずしたさいに鉄屑が落ちてきて足に直撃した。	56	1～ 9
7	13～ 14	当社車庫前において吸引者のフェンダーに上がりタンクの上にいる運転手兼作業員にハンマーを手渡そうとして背伸びをした瞬間に、足をすべらせて転倒しフェンダーにすえつけてあるホースハンガーに左わき腹をぶつけた。	39	30 ～ 49
7	10～ 11	住宅街の路上に排出された容器包装プラスチックごみを収集作業中、走行車線の片側だけなので、同僚職員は車内に待機していた。前方には収集対象物がなかったので、作業車の内側から同僚が押し開けたドアを右手で掴んだとき、内側の同僚が乗らないものと判断し閉めたため、右手中指を挟み負傷した。	46	100 ～ 299
9	11～ 12	粗大ごみの収集業務を行っていた。荷台に積んだ積荷の状態が気になり、もう一度車のステップへ足をかけ、手直しを行ったが、その車のステップから地上へ降りる際、右足から着地し、踵に損傷を負ったものである。	59	30 ～ 49
9	15～ 16	環境課清掃業務班の非常勤職員である被災者は、午後にごみ収集の作業中、トラック荷台のアオリを開けた時に胸を強打した。	53	300 ～ 499
11	14～ 15	電縫鋼管製造ラインにおいて、内径ビードを機械で切断しやすくするため火ばさみで挟み補助する作業中、ビードが折れ曲がった状態で手前に振れ火ばさみを持って	62	10 ～

		いた右手に当たり負傷してしまった。		29
11	13～14	新築工事現場でトラックの荷台の上にあるコンテナのネットを取る作業中、ゴミとネットで足を滑らせて荷台から落下した際に、左足を捻り足首付近を負傷したものである。	45	10～29
11	8～9	ゴミ庫内において収集車をコンベアにセッティングする為バックの誘導をしていたところ、急にものすごいスピードで追突してきた。その時に左腕を収集車とコンベアの間挟まれた。後に運転手に聞いたところブレーキとアクセルを間違ったと言っていた。	54	50～99
12	9～10	路上にてごみの収集作業を行っている際に、当該作業員が平ボディ車の荷台に登り、積荷整理をしている最中に、作業員に気がつかず運転手が車両を発進させてしまい、地面に落下してケガを負った。	21	100～299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html